

【 共通問題 】(スクールリーダーシップ開発専攻・教科教育専攻 共通)

(平成31年度入試の問題)

問題は「教育原理に関する問題」が2問、「教育心理に関する問題」が2問あります。
全ての問題を解答しなさい。

共通科目 (「教育原理に関する問題」)

問題1 次の () の中にあてはまる適切な用語を、次ページに示した選択肢の中から一つ選び、その事項の記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 教育基本法(平成18年法律第120号)の第9条の第1項は、「法律に定める学校の教員は、自己の (①) を深く自覚し、絶えず (②) に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」と定めている。また第2項は、「前項の教員については、その (③) の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、 (④) の充実が図られなければならない。」と定めている。

(2) 2017年3月に告示された『中学校学習指導要領』の第1章総則には、「学校における道德教育は、(⑤) である道德(以下「道德科」という。)を要として学校の (⑥) を通じて行うものであり、道德科はもとより、各教科、 (⑦) 及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達段階を考慮して、適切な指導を行うこと。」と記されている。

(3) 2015年12月21日の『チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)』(中教審第185号)の中には次の記述がなされている。

(⑧) に関する課題の解決に当たっては、スクールカウンセラーや (⑨) の協力を得ることが重要である。そのためには、まず、教育委員会がスクールカウンセラーや (⑨) の活動方針等を策定し、学校の教職員に対して周知することが重要である。

一方、(⑧) に当たっては、あくまでも校長や (⑧) 担当教員のマネジメントの下、(⑩) がスクールカウンセラーや (⑨) と連携・分担して取り組むことが重要である。(⑩) がいじめや問題行動、また、家庭環境などの問題を (⑧) に関する専門スタッフに任せきりにするようでは、かえって問題をうまく解決できないことも考えられる。

(⑩) を中心として、スクールカウンセラー、(⑨) がそれぞれの専門性に基つき、組織的に問題の解決に取り組むため、学校においては、スクールカウンセ

ラーや（ ⑨ ）の役割等を明確化し、スクールカウンセラーや（ ⑨ ）を（ ⑧ ）や教育相談の組織に有機的に位置付け、教職員に周知徹底することが求められる。

また、特に、（ ⑪ ）は、児童生徒の心身に関わる変調のサインを把握しやすい立場にあることから、スクールカウンセラーや（ ⑨ ）と（ ⑪ ）との連携・分担体制にも留意することが重要である。

（４）1965年のユネスコ成人教育推進国際委員会で、フランス人の（ ⑫ ）は人の一生という時系列にわたる垂直的な統合と、個人と社会の生活全体にわたる水平的な統合を目指す（ ⑬ ）という構想を提案した。その後、日本では内閣総理大臣直属の諮問機関として設置された臨時教育審議会が1987年8月の第4次答申で教育改革の視点として、個性重視の原則、（ ⑭ ）、変化への対応、の3つを挙げた。（ ⑭ ）とは、学習意欲の高まりと多様な教育サービス供給体系や科学技術の進展などを踏まえて、（ ⑮ ）の弊害を是正するため、学校中心の考え方を改めて教育体系の総合的な再編成を図ろうとする方向性を示したものである。

（ア）重要な教科	（イ）使命と職責	（ウ）総合的な学習の時間
（エ）生徒指導	（オ）PTA 役員	（カ）校長
（キ）資質能力の向上	（ク）崇高な使命	（ケ）ラングラン(Lengrand, P.)
（コ）教育活動全体	（サ）ルソー (Rousseau, J.J.)	（シ）生涯学習体系への移行
（ス）栄養教諭	（セ）教職員全体	（ソ）国家的な役割
（タ）フーコー (Foucault, M.)	（チ）外国語活動	（ツ）人口減少社会
（テ）職務環境	（ト）スクールソーシャルワーカー	（ナ）職務と研鑽
（ニ）生涯教育	（ヌ）学習指導	（ネ）保護者
（ノ）教員	（ハ）保健室教諭	（ヒ）社会に開かれた教育課程
（フ）養成と研修	（ヘ）社会教育	（ホ）特別の教科
（マ）養護教諭	（ミ）研究と修養	（ム）学歴社会

（使わない用語もある）

問題2 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- （１）「大人」とは異なる特別の配慮を必要とする「子ども（期）」というとらえ方は、西欧近代の家族形態の変化と学校制度の広がりとともに誕生した。
- （２）初等教員養成機関の校長や教員の養成を主目的として制度化されたが、その後存廃論争や大学昇格運動が展開された。
- （３）教師を選ぶ自由、教材を選ぶ自由、時間割の自由、場所の自由を謳（うた）い、教

育による社会改造を目指しながら、ラディカルな実践を試みた。

- (4) 住民のため、実際生活に即した教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、自治能力の向上と地域づくりに資することが期待された。
- (5) 戦争は人の心のなかで生まれるものであるから、人の心のなかに平和の砦（とりで）を築かなければならない。
- (6) 教会がキリスト教を墮落させたように、学校が教育を破壊したのであり、真の教育を取り戻すためには学校を廃絶しなければならない。
- (7) 学校教育がもたらす知識は、中立・公正の立場から選ばれたものではなく、上層階級の利益に結びつく基準と枠組によって選ばれたものである。
- (8) 多忙を極め、ストレスの大きい職場状況は、燃え尽きたように職務への意欲を失う教師を生み出している。
- (9) 不登校の子どもに学校以外での多様な学びの場を提供することを主目的とし、国および地方自治体の責務を定めて必要な財政支援に努めることを求めた。
- (10) 機転、機知、勘などといわれる、臨床医学で用いられた臨機応変の「わざ」は、教育の臨床知や教師の指導力を語るうえでも重要である。

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) アリエス (Ariès, Ph.)
- (イ) 長田新
- (ウ) 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（平成 28 年法律第 105 号）
- (エ) 高等師範学校
- (オ) 公民館
- (カ) コンピテンス (competence)
- (キ) 生涯学習センター
- (ク) 真教育論
- (ケ) 人的資本論
- (コ) 青年師範学校
- (サ) 世界人権宣言
- (シ) ダイアー (Dyer, H.)
- (ス) 脱学校論
- (セ) 野口援太郎
- (ソ) バーンアウト (burnout)
- (タ) 不登校児童生徒等に対する教育機会の確保等に関する法律（平成 27 年法律第 93 号）
- (チ) 文化的再生産論
- (ツ) ユネスコ憲章
- (テ) ラベリング理論
- (ト) タクト (tact)

共通科目（ 「教育心理に関する問題」 ）

問題1 A群の説明にもっとも関係の深い用語をB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) 理論的考察によって説明されたガードナー (Gardner,H.) の理論。
- (2) 再テスト法, 平行検査法, 折半法などによって評価される指標で, テストの適切さの評価として使用される。
- (3) 新生児期に観察される不随意的な反応であり, 生後 4~5 ヶ月の間に徐々に消失していく。
- (4) 11 歳前後以降を指し, 認知発達の最終段階とされる。
- (5) 横軸を行動次元, 縦軸を評価の次元とした時に得られる曲線で, ある集団内で許容される行動範囲などが示される。
- (6) 年代ごとにほぼ一定の割合で知能指数が上昇していること。
- (7) 個人差に応じた教育環境を研究・設計する上での基本的概念。
- (8) 記銘材料を何回も反復して想起すること。
- (9) エリクソン (Erikson,E.H.) がライフサイクルを心理・社会・歴史的な側面を重視して理論化したもの。
- (10) 受検者個人の検査結果を集団基準に照らして解釈することができるようにするために必要な手続き。

【B群】(使わない用語もある)

- (ア) CHC理論 (CHC theory) (イ) 形式的操作期 (formal operational period)
- (ウ) バーナム効果 (Barnum effect) (エ) フリン現象 (Flynn effect)
- (オ) 原始反射 (primitive reflexes) (カ) 選好注視法 (preferential looking method)
- (キ) 適性処遇交互作用 (aptitude treatment interaction) (ク) 漸成発達理論図式 (epigenetic chart) (ケ) 信頼性 (reliability) (コ) 基本的信頼 (basic trust)
- (サ) 標準化 (standardization) (シ) リターン・ポテンシャル・モデル (return potential model) (ス) 先行オーガナイザー (advance organizer)
- (セ) リハーサル (rehearsal) (ソ) 具体的操作期 (concrete operational period)
- (タ) 多重知能理論 (theory of multiple intelligences)

問題2 A群の人名にもっとも関係の深い用語をB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| (1) エビングハウス (Ebbinghaus,H.) | (2) パブロフ (Pavlov,I.P.) |
| (3) ボウルビィ (Bowlby,J.) | (4) コールバーグ (Kohlberg,L.) |
| (5) ローレンツ (Lorenz,K.Z.) | (6) アイゼンク (Eysenck,H.J.) |
| (7) レヴィン (Lewin,K.) | (8) ビネー (Binet,A.) |
| (9) マズロー (Maslow,A.H.) | (10) フロイト (Freud,S.) |

【B群】(使わない用語もある)

- (ア) 忘却曲線 (forgetting curve)
- (イ) アロマザリング (allomothering)
- (ウ) ストループ効果 (Stroop effect)
- (エ) 自己実現 (self-actualization)
- (オ) 無意識 (unconscious)
- (カ) 潜在学習 (latent learning)
- (キ) 知能検査 (intelligence test)
- (ク) ソシオメトリック・テスト (sociometric test)
- (ケ) リーダーシップ (leadership)
- (コ) 安全基地 (secure base)
- (サ) 刷り込み (imprinting)
- (シ) 道徳性 (morality)
- (ス) レスポンデント条件づけ (respondent conditioning)
- (セ) オペラント条件づけ (operant conditioning)
- (ソ) モーズレイ人格目録 (Maudsley personality inventory)